

OpenAI Deep Research

DNP(大日本印刷)が研究開発部門などに「ChatGPT Enterprise」を導入する背景や目的、具体的な活用方法、期待される効果について調査します。

また、他の企業の導入事例との比較も行い、DNP の取り組みがどのような特徴を持つのかを分析します。

調査結果がまとめ次第、お知らせします。

## DNP における「ChatGPT Enterprise」導入の背景と目的

大日本印刷(DNP)は 2025 年 2 月、OpenAI 社の企業向け生成 AI サービス「ChatGPT Enterprise」を研究開発部門や新規事業開発部門などで導入しました ([さらなる DX の推進に向けて OpenAI 社の ChatGPT Enterprise を導入 | 大日本印刷株式会社のプレスリリース](#))。この導入の大きな目的は、DNP の DX(デジタルトランスフォーメーション)を加速させ、業務プロセスの最適化や開発業務の効率化を一段と推進することにあります ([さらなる DX の推進に向けて OpenAI 社の ChatGPT Enterprise を導入 | ニュース | DNP 大日本印刷](#))。ChatGPT Enterprise はテキスト・画像・音声・動画といったマルチモーダルデータを統合処理し、思考プロセスを連鎖させた論理的推論が可能な先進的 AI モデルです。この高度な能力を業務に活かすことで、これまで難しかった複雑な課題の解決や高度な分析を実現し、DNP の競争力強化と新たな事業創出につなげる狙いです ([さらなる DX の推進に向けて OpenAI 社の ChatGPT Enterprise を導入 | ニュース | DNP 大日本印刷](#)) ([さらなる DX の推進に向けて OpenAI 社の ChatGPT Enterprise を導入 | 大日本印刷株式会社のプレスリリース](#))。

DNP は事業ビジョン「P&I イノベーション」(Printing & Information Innovation)を掲げ、印刷と情報という自社の強みを組み合わせる新たな価値創出を図っています。この戦略のもと、更なる DX 推進の一環として ChatGPT Enterprise の活用を決めました ([さらなる DX の推進に向けて OpenAI 社の ChatGPT Enterprise を導入 | 大日本印刷株式会社のプレスリリース](#))。特にマルチモーダル対応や強力な推論能力を持つ ChatGPT Enterprise を導入することで、従来の延長線上にはない革新的な取り組みを生み出し、「より良い未来」に向けた価値提供を加速させることが DNP の狙いです

[\(さらなる DX の推進に向けて OpenAI 社の ChatGPT Enterprise を導入 | ニュース | DNP 大日本印刷\)](#)。実際、DNP 代表取締役社長の北島義斉氏も「先進 AI を的確にビジネスに取り入れることで大胆な変革を起こす必要がある」と述べており、OpenAI との対話と協働を深めて社会や暮らしに新しい価値を届けていく姿勢を示しています ([さらなる DX の推進に向けて OpenAI 社の ChatGPT Enterprise を導入 | ニュース | DNP 大日本印刷](#))。

## 研究開発部門における具体的な活用事例

研究開発部門では、ChatGPT Enterprise を研究開発プロセスの多方面に活用しています。具体的には、新素材・新材料の探索に AI の知見を活かして有望な素材候補を絞り込んだり、製品や部材の試験結果を分析して品質向上に役立てたりしています。また、新製品の開発に伴う特許の調査や出願業務にも活用し、関連する既存特許の網羅的な検索や文献調査を短時間で行えるようにします ([さらなる DX の推進に向けて OpenAI 社の ChatGPT Enterprise を導入 | ニュース | DNP 大日本印刷](#))。法令・規制の調査についても ChatGPT Enterprise に下調べを任せることで、研究開発担当者が最新の規制動向を効率良く把握できるようになります ([さらなる DX の推進に向けて OpenAI 社の ChatGPT Enterprise を導入 | ニュース | DNP 大日本印刷](#))。さらに、研究開発用システムの開発(ソフトウェア開発)にもチャット AI を活用しています ([さらなる DX の推進に向けて OpenAI 社の ChatGPT Enterprise を導入 | ニュース | DNP 大日本印刷](#))。例えば、実験データを解析するプログラムのコーディングを AI に補助させたり、過去の研究データから示唆を得るツールの開発に AI の力を借りたりといった具合です。これらの活用により、研究者は反復的な調査作業やコーディングに費やす時間を削減し、より創造的な研究設計や実験考案に注力できるようになります。結果として、新素材の発見スピードが上がり研究開発サイクルの短縮や、プロジェクトの高度化が期待されています。

## 新規事業開発やその他部門での活用シナリオ

ChatGPT Enterprise は新規事業開発部門でも積極的に活用されています。社会動向や市場トレンド、生活者のニーズ変化を AI で迅速かつ的確に把握し、今後のビジネスチャンスを見極めることに役立てています ([さらなる DX の推進に向けて OpenAI 社の ChatGPT Enterprise を導入 | ニュース | DNP 大日本印刷](#))。例えば、膨大な

ニュース記事や市場レポートから重要な示唆を抽出したり、新しいアイデアの種を AI と対話しながらブレインストーミングしたりできます。また、**多数の事業アイデアの検討**に ChatGPT Enterprise を用いることで、短時間でアイデア出しを行い、それらを比較検討するといった作業も効率化しています ([さらなる DX の推進に向けて OpenAI 社の ChatGPT Enterprise を導入 | ニュース | DNP 大日本印刷](#))。これにより、新規事業開発担当者はより多くの選択肢を検討でき、斬新なビジネスモデルやサービスの創出につながっています。

さらに DNP では、ChatGPT Enterprise の導入を**限定的な部門に留めず、全社的に活用シナリオを広げる取り組み**を行っています。各部門横断で様々なテーマのプロジェクトを編成し、社内のユースケース(使用事例)の創出に努めています ([さらなる DX の推進に向けて OpenAI 社の ChatGPT Enterprise を導入 | ニュース | DNP 大日本印刷](#))。例えば、経営企画部門での資料作成支援や、営業部門での提案書ドラフト生成、製造現場でのマニュアル要約やトラブルシューティング支援など、**幅広い業務領域での活用アイデア**が検討されています。実際、DNP は社内に高セキュリティな生成 AI 利用環境を構築しており、国内外グループ社員約 3 万人がイントラネット経由でこの生成 AI を業務利用できるようにしています ([DNP グループ社員 3 万人に向けて「生成 AI」の利用環境を構築 | ニュース | DNP 大日本印刷](#)) ([DNP グループ社員 3 万人に向けて「生成 AI」の利用環境を構築 | ニュース | DNP 大日本印刷](#))。技術系・営業・企画・製造などあらゆる職種の社員がいつでも AI にアクセスできる環境を整え、専門部署による相談窓口や社内勉強会を通じて利用促進の支援も行っています ([DNP グループ社員 3 万人に向けて「生成 AI」の利用環境を構築 | ニュース | DNP 大日本印刷](#))。

([DNP グループ社員 3 万人に向けて「生成 AI」の利用環境を構築 | ニュース | DNP 大日本印刷](#)) 社内向けに構築された生成 AI チャットサービスの利用画面例。社員は安全なイントラネット環境から AI にアクセスし、自社に関する質問や専門知識の照会などを行うことができる ([DNP グループ社員 3 万人に向けて「生成 AI」の利用環境を構築 | ニュース | DNP 大日本印刷](#))。例えば上図では「大日本印刷の XR コミュニケーションについて教えてください」という質問に対し、AI が DNP の XR コミュニケーション事業に関する説明を行っている。このように、社内ドメインの情報活用やナレッジ共有にも生成 AI が役立っている。DNP は ChatGPT Enterprise を活用した社内プロジェクトを次々に立ち上げ、各部門の生産性向上や**新しい価値の開発**につながっていく計画です ([さらなる DX の推進に向けて OpenAI 社の ChatGPT Enterprise を導入 | ニュース | DNP 大日本印刷](#))。

# 期待される効果・メリット

ChatGPT Enterprise 導入によって DNP が期待する効果は大きく分けて**業務効率の飛躍的向上と新たな価値創造**の二点です。まず業務効率の向上については、導入部門において「従来と比較して大幅な作業時間の短縮」を実現することを目指しています ([DNP が研究開発部門などに「ChatGPT Enterprise」導入、50%超の業務自動化を目指す | EnterpriseZine \(エンタープライズジン\)](#))。大量の文献調査やデータ分析、資料作成など、人手で膨大な時間を要していたタスクを AI が迅速にこなすことで、**作業時間を劇的に圧縮**できます ([DNP が研究開発部門などに「ChatGPT Enterprise」導入、50%超の業務自動化を目指す | EnterpriseZine \(エンタープライズジン\)](#))。例えば、特許調査では関連文献のサーチに費やす時間が削減され、新素材探索でも無数の組み合わせを AI が評価することで試行回数を減らせるでしょう。その結果、より**短いサイクルで意思決定や開発を進める**ことが可能になります。また ChatGPT Enterprise の活用で、これまで手が回らなかったより**広範な業務の遂行**も可能になり、アウトプットの質の向上にもつなげています ([DNP が研究開発部門などに「ChatGPT Enterprise」導入、50%超の業務自動化を目指す | EnterpriseZine \(エンタープライズジン\)](#))。例えば、アイデア出しの段階で数多くの案を比較検討できれば、最終的に選び抜かれた企画の精度や独自性が高まると期待されます。DNP は各部門ごとに業務特化型の AI エージェントを構築し、複雑で難解な業務にも AI を適用することで迅速な情報処理と論理的な推論を実現し、成果を最大化していく計画です ([DNP が研究開発部門などに「ChatGPT Enterprise」導入、50%超の業務自動化を目指す | EnterpriseZine \(エンタープライズジン\)](#))。

特に数値目標として、「**50%以上の業務自動化**」を掲げている点は注目すべきです ([DNP が研究開発部門などに「ChatGPT Enterprise」導入、50%超の業務自動化を目指す | EnterpriseZine \(エンタープライズジン\)](#))。従来、人手で行っていた業務の半分以上を AI に任せられるようにすることで、人間の担当者はより付加価値の高い業務に集中できます。例えば、レポート作成や定型分析の多くを AI が肩代わりすれば、社員は戦略立案や創造的思考に時間を充てられます。実際、他社の例ではありますが、NEC では生成 AI 導入によって資料作成時間が 50%削減され、会議議事録の作成も平均 30 分かかっていたものが約 5 分で完了するなど、大幅な効率化効果が出ています ([【特集】 ChatGPT Enterprise とは？ Team との比較や導入事例を紹介 - Comdesk Lead 【公式】](#))。スペインの大手銀行 BBVA でも ChatGPT Enterprise を 3000 名規模で導入した結果、**80%以上の従業員が毎週 2 時間以上の時間節約**を実感したという報告があり、数千人規模で見ると莫大な生産性向上につながったとされています ([Enterprise Adoption of ChatGPT: How It's Actually Going](#))。DNP も同様

に、全社的な生産性向上による労働時間の削減やアウトプットの増加を期待しており、AIと人が協働することで業績向上や競争力強化に寄与すると見込んでいます（[さらなる DX の推進に向けて OpenAI 社の ChatGPT Enterprise を導入 | ニュース | DNP 大日本印刷](#)）。さらに、効率化だけでなく新規事業創出やサービス開発の加速という質的なメリットも大きいと考えられます。膨大なアイデアを AI が提案・整理してくれることで、従来見落としていた市場ニーズに気付いたり、斬新な製品コンセプトを短時間で具体化できたりするでしょう。こうしたイノベーション創出のスピードアップも、ChatGPT Enterprise 導入による重要な効果といえます（[さらなる DX の推進に向けて OpenAI 社の ChatGPT Enterprise を導入 | ニュース | DNP 大日本印刷](#)）（[さらなる DX の推進に向けて OpenAI 社の ChatGPT Enterprise を導入 | ニュース | DNP 大日本印刷](#)）。

## セキュリティ・プライバシーへの対応策

企業が生成 AI を活用する際に懸念されるのが情報セキュリティとプライバシーですが、DNP はこの点に十分な対策を講じています。まず、ChatGPT Enterprise 自体が企業向けに強化されたセキュリティ・プライバシー機能を備えています。具体的には、「ユーザー企業のデータや会話内容をモデルの再学習（トレーニング）に使用しない」ことが保証されており、入力した機密情報が勝手に AI の学習材料にされる心配がありません（[使用上限なしで、学習されず暗号化される「ChatGPT Enterprise」 - PC Watch](#)）。また、SOC 2 準拠のセキュリティが確保されており、やりとりされる全データは送受信中は TLS 1.2 以上で、保存時には AES-256 によって暗号化されています（[使用上限なしで、学習されず暗号化される「ChatGPT Enterprise」 - PC Watch](#)）。これにより、社外への情報漏えいリスクを極小化しつつ安全に AI を業務利用できます。

DNP はさらに、自社内での生成 AI 利用環境にも工夫を凝らしています。2023 年 5 月には、日本マイクロソフトが提供する Azure OpenAI Service 上で ChatGPT を動作させる社内専用環境を構築し、社内で使用するデータがすべて自社内に留まるようにしました（[DNP グループ社員 3 万人に向けて「生成 AI」の利用環境を構築 | ニュース | DNP 大日本印刷](#)）。この高セキュリティ環境により、クラウド上の AI サービスを使いながらも社外への機密情報流出を防止しています（[DNP グループ社員 3 万人に向けて「生成 AI」の利用環境を構築 | ニュース | DNP 大日本印刷](#)）。要するに、インターネット経由で直接 ChatGPT（一般向け）を使わせるのではなく、Microsoft Azure の企業向けクラウド環境に閉じた形で ChatGPT 機能を提供することで、安全性を高めているのです。また、社内の情報セキュリティポリシーやガバナンス体制も整備されて

います。DNP は 2024 年に「DNP グループ AI 倫理方針」を策定し、社員が AI を利活用する際の法令遵守や公平性の確保、プライバシー保護などのガイドラインを明確に決めました ([さらなる DX の推進に向けて OpenAI 社の ChatGPT Enterprise を導入 | ニュース | DNP 大日本印刷](#))。これにより、生成 AI を活用する際の社員の行動指針を示し、不適切な利用や情報管理上の逸脱が起きないようにしています。さらに DNP は全社員を対象にリテラシー教育も実施しています。先述の通り社内研修やコンテストを継続的に開催し、安全で効果的なプロンプトの作成法や AI の使いこなし方をトレーニングしています ([さらなる DX の推進に向けて OpenAI 社の ChatGPT Enterprise を導入 | ニュース | DNP 大日本印刷](#))。このような技術面・制度面両方からの対策により、DNP は ChatGPT Enterprise を\*\*「安全・安心かつ責任ある AI 活用」\*\*のもとで運用できる体制を築いています。

## 他社における導入事例と DNP の取り組みの比較

ChatGPT や生成 AI の企業導入は DNP 以外にも国内外で加速しています。他社事例をいくつか見ると、その狙いやアプローチに各社の特色が表れています。例えば、ソフトバンクは 2023 年 5 月から全社員 2 万人が利用できる独自の生成 AI 環境「ソフトバンク版 AI チャット」を構築しました ([【特集】 ChatGPT Enterprise とは？ Team との比較や導入事例を紹介 - Comdesk Lead 【公式】](#))。これは ChatGPT Enterprise をベースに開発した社内向け LLM(大規模言語モデル)で、社員が生成 AI をより安全・安心に業務活用することを目的としています ([【特集】 ChatGPT Enterprise とは？ Team との比較や導入事例を紹介 - Comdesk Lead 【公式】](#))。ソフトバンクはこの AI チャットを通じて、文章作成や翻訳など日常業務の効率化はもちろん、営業・マーケティング領域での企画アイデア立案、サービス開発時のプログラミング支援、さらにはコールセンター業務への適用など、あらゆる業務への AI 活用を目指としています ([【特集】 ChatGPT Enterprise とは？ Team との比較や導入事例を紹介 - Comdesk Lead 【公式】](#))。つまり、ソフトバンクのアプローチは**全社横断的に生成 AI を行き渡らせ、汎用的な業務支援ツールとして活用することに重点**があります。自社専用の LLM を構築した点は、ベースモデルに独自ノウハウを反映させる狙いもあるでしょう。一方 DNP は、全社的な環境整備も行いつつ、まず**研究開発や新規事業開発という専門領域にフォーカスして導入を開始した点**が異なります。自社モデルの開発ではなく OpenAI 社のモデルをそのまま活用しつつ、各部門の業務に特化した AI エージェントを作るというアプローチで、用途ごとの最適化を図っている点も特色と言えます (

[動化を目指す|EnterpriseZine\(エンタープライズジン\)](#))。ソフトバンクが広範な業務への横展開を志向するのに対し、DNP は自社のコア業務であるモノづくりや新規ビジネス創造への AI 適用にまず注力し、その成果を皮切りに社内全体へ波及させる戦略と考えられます。

NEC の取り組みも参考になります。NEC は 2023 年 5 月に OpenAI の LLM と自社開発の LLM を組み合わせた社内向け生成 AI システムの利用を開始し、すでに具体的な効果を公表しています。例えば、社内業務での活用により資料作成時間を 50%削減し、会議の議事録作成も平均 30 分から約 5 分に短縮できたといいます ([【特集】 ChatGPT Enterprise とは？ Team との比較や導入事例を紹介 - Comdesk Lead 【公式】](#))。これは DNP が目標とする「50%以上の業務自動化」に通じる成果であり、生成 AI の有効性を裏付ける好例です。NEC では「Generative AI 変革オフィス」という専門組織を社内を設置し、あらゆる社内システムとの AI 連携やサービス高度化を推進しています ([【特集】 ChatGPT Enterprise とは？ Team との比較や導入事例を紹介 - Comdesk Lead 【公式】](#))。社員へのプロンプト共有や Web 教育、ワークショップ・ハッカソンの開催といった施策も実施し、社員が自律的かつ日常的に生成 AI を使いこなせる風土づくりを目指しています ([【特集】 ChatGPT Enterprise とは？ Team との比較や導入事例を紹介 - Comdesk Lead 【公式】](#))。このように社員の自主的な活用を促す点は、DNP が社内コンテストや研修でリテラシー向上を図っている取り組みに近いものがあります ([さらなる DX の推進に向けて OpenAI 社の ChatGPT Enterprise を導入 | ニュース | DNP 大日本印刷](#))。一方で NEC は、自社 LLM を組み合わせることで機密データの内部利用や独自機能の実装にも注力しており、AI 活用と情報保護を両立する工夫をしています。DNP も Azure 基盤の活用など安全性に配慮していますが、自社モデルを訓練するよりは外部の先進モデルを取り入れて応用領域を開拓する方向性です。この違いは、NEC が IT 企業として AI 技術そのものの開発力を持つのに対し、DNP はユーザー企業として最新 AI を利活用して自社事業に変革を起こす立場であることによると言えるでしょう。

海外の事例では、PwC(プライスウォーターハウスクーパース)が生成 AI 活用の先進企業として知られます。PwC はグローバルで ChatGPT Enterprise を導入しており、世界で 10 万人もの社員がこのツールを業務に利用しています ([【特集】 ChatGPT Enterprise とは？ Team との比較や導入事例を紹介 - Comdesk Lead 【公式】](#))。用途も幅広く、税務申告書類のチェック、自社ソフトウェア開発、各種レポート作成などで AI が支援を行っています ([【特集】 ChatGPT Enterprise とは？ Team との比較や導入事例を紹介 - Comdesk Lead 【公式】](#))。同社では日々新たな活用事例が生まれており、社内で確認できたユースケースは 3,000 件以上にも上ると報じられています ([【特集】 ChatGPT Enterprise とは？ Team との比較や導入事例を紹介 -](#)

[Comdesk Lead【公式】](#))。さらに PwC は OpenAI との提携を深め、ChatGPT Enterprise の再販を米英で担当するなど、**生成 AI を事業としても活用する動き**を見せています ([【特集】 ChatGPT Enterprise とは？ Team との比較や導入事例を紹介 - Comdesk Lead【公式】](#))。このようにコンサルティング会社では知的生産性を飛躍させるツールとして全社導入が進んでおり、DNP のような製造業とはまた異なる観点から AI が使われています。DNP の場合、知的生産性の向上のみならず自社のものづくり力と組み合わせたイノベーション創出(新素材開発や新サービス開発)に踏み込んでいる点がユニークです ([さらなる DX の推進に向けて OpenAI 社の ChatGPT Enterprise を導入 | ニュース | DNP 大日本印刷](#))。また、ChatGPT Enterprise 導入にあたって OpenAI Japan 社長からコメントが寄せられるほど(※北島社長との共同コメント ([さらなる DX の推進に向けて OpenAI 社の ChatGPT Enterprise を導入 | ニュース | DNP 大日本印刷](#)))、DNP と OpenAI の協業体制が構築されている点も特徴的でしょう。他方、PwC のような企業は社内に蓄積したナレッジやドキュメント資産を AI で活用することに重点があり、\*\*目的志向(業務効率の追求)の色合いが強い\*\*のに対し、DNP は**効率追求に加えて探索志向(新価値の模索)\*\*も強く持っている**といえます。

国内では他にも、**中外製薬**が 2023 年に ChatGPT を全社業務に導入する計画を発表し話題となりました。6 月から数百人規模でトライアルを開始し、7~8 月中に全社展開する予定とされており、この導入によって**コーポレート業務の効率化**が期待されています ([【12 月最新版】 ChatGPT を導入した日本企業の活用事例 84 選・24 業種を徹底調査!](#))。さらに新薬開発、マーケティング、製造業務など様々な分野で ChatGPT を活用するとしています ([【12 月最新版】 ChatGPT を導入した日本企業の活用事例 84 選・24 業種を徹底調査!](#))。製薬業界のように高度に専門的な R&D が要求される企業でも生成 AI の全社導入を図っている点は、DNP の研究開発部門での活用と通じるものがあります。違いを挙げれば、中外製薬ではまずコーポレート部門の効率化を重視しているのに対し、DNP は自社の強みである製造系 R&D の高度化に AI を当座から適用している点です。また、中外製薬を含め多くの企業が汎用的な ChatGPT 利用ガイドラインを策定している中で、DNP は**自社専用環境や倫理方針を整備しつつ OpenAI の最新モデルを積極採用**している点で先進的と言えます。

以上のように、他社事例と比較すると DNP の ChatGPT Enterprise 導入は、**自社の事業ドメインに深く踏み込んだ使い方を模索**している点が光ります。ソフトバンクや NEC のような IT 企業が社内全般の生産性向上や自社モデル開発に力を入れる中、DNP は印刷・素材といった領域での難題解決や新事業創出にフォーカスし、OpenAI の技術を取り入れているのです ([さらなる DX の推進に向けて OpenAI 社の ChatGPT Enterprise を導入 | ニュース | DNP 大日本印刷](#))。また、DNP は目標



(50%以上自動化)の明示や AI 倫理方針の策定など、トップダウンでのコミットメントが明確であり、社内文化面の醸成にも力を注いでいます ([DNP が研究開発部門などに「ChatGPT Enterprise」導入、50%超の業務自動化を目指す|EnterpriseZine\(エンタープライズジン\)](#)) ([さらなる DX の推進に向けて OpenAI 社の ChatGPT Enterprise を導入 | ニュース | DNP 大日本印刷](#))。このような総合的アプローチによって、DNP は生成 AI を単なる業務効率化ツールに留めず、自社の競争力を飛躍させる戦略的パートナーとして位置付けていると言えるでしょう。各社の取り組みはそれぞれの業態や戦略に即した形で進んでいますが、DNP のケースは製造業における生成 AI 活用の先行例として注目されており、今後他の企業が DX を推進する上でも一つの指針となる可能性があります。

#### 参考資料:

- DNP「さらなる DX の推進に向けて OpenAI 社の ChatGPT Enterprise を導入」ニュースリリース ([さらなる DX の推進に向けて OpenAI 社の ChatGPT Enterprise を導入 | ニュース | DNP 大日本印刷](#)) ([さらなる DX の推進に向けて OpenAI 社の ChatGPT Enterprise を導入 | ニュース | DNP 大日本印刷](#)) ([さらなる DX の推進に向けて OpenAI 社の ChatGPT Enterprise を導入 | ニュース | DNP 大日本印刷](#)) ([さらなる DX の推進に向けて OpenAI 社の ChatGPT Enterprise を導入 | ニュース | DNP 大日本印刷](#))
- DNP「生成 AI の利用環境を構築」ニュースリリース ([DNP グループ社員 3 万人に向けて「生成 AI」の利用環境を構築 | ニュース | DNP 大日本印刷](#)) ([DNP グループ社員 3 万人に向けて「生成 AI」の利用環境を構築 | ニュース | DNP 大日本印刷](#))
- EnterpriseZine「DNP が研究開発部門などに ChatGPT Enterprise 導入、50%超の業務自動化を目指す」([DNP が研究開発部門などに「ChatGPT Enterprise」導入、50%超の業務自動化を目指す|EnterpriseZine\(エンタープライズジン\)](#)) ([DNP が研究開発部門などに「ChatGPT Enterprise」導入、50%超の業務自動化を目指す|EnterpriseZine\(エンタープライズジン\)](#))
- Comdesk Lead 特集「ChatGPT Enterprise 導入事例(ソフトバンク、NEC、PwC)」([【特集】 ChatGPT Enterprise とは？ Team との比較や導入事例を紹介 - Comdesk Lead 【公式】](#)) ([【特集】 ChatGPT Enterprise とは？ Team との比較や導入事例を紹介 - Comdesk Lead 【公式】](#)) ([【特集】 ChatGPT Enterprise とは？ Team との比較や導入事例を紹介 - Comdesk Lead 【公式】](#))
- Goatman 記事「ChatGPT を導入した日本企業の活用事例」([【12 月最新版】 ChatGPT を導入した日本企業の活用事例 84 選・24 業種を徹底調査！](#))

- PC Watch「ChatGPT Enterprise」解説記事